

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年3月31日
(学)金沢学園 金沢南保育園

1、 本園の保育目標

- ・健康で明るく素直な子ども
- ・たくさん経験をし、五感を豊かに想像力をふくらませる子ども
- ・優しさ、思いやり、勇気、感動を共有できる子ども
- ・人の話を聞いて、自分の気持ちを言葉で表現できる子ども

2、 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・一人ひとりの幼児を大切に、安全な保育を心掛ける。

3、 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	全体的な計画を見直し改善を図る	A	幼児の姿や遊びの記録をもとに、保育士が定期的に話し合い、ねらいや内容の見直しを行った。
2	保育の質向上のために、園内研修を充実させる	B	あそびの充実を図るため、PDCAを繰り返し、その結果、遊びが充実し、保育の質の向上が見られた。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する	A	特別支援コーディネーターを配置し、家庭や関係機関との連携を図った。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4、 総合的な評価結果

評価	
A	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの幼児を大切に、安全な保育を実践する事ができた。また、さらなる保育の質の向上に向けた課題も明確になった。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5、 今後取り組む課題

	課題	
1	環境	園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を保育士間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。
3	保小接続	保育士と小学校の教師が共に学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接続を図る。

6、 学校関係者評価委員会の評価

※委員の総合的見解は、総合評価のAと同様で評価が高かった。

1. 安全に保育できたこと、保育の改善が見られ保育の質の向上に向けた研修なども積極的であった事。
2. 環境的にはまだ古い建物でも、新しい遊具や壁画などの物的環境に力を入れたことが高い評価となる。
3. 学園全体の連携が密で園運営にも改善が見られたこと等高い評価でした。